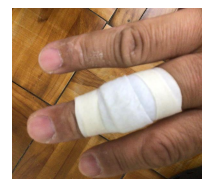


校長先生からの「ありがとう」 < 2026 >

5月1日（金） みんな優しいです。

僕のことなのですが、指を痛めました。原因が分からないのですが、大したことないかな？と思い、月曜日に剣道をしました。火曜日、指が腫れていました。シップをしました。水曜日、大会で指導をしました。もっともっと腫れました。今日も腫れていて、シップをしました。火曜日も今日も、それを見た子たちが「どうしたの？」「大丈夫？」と声をかけてくれました。みんな優しいです。「ありがとう」



「校長先生、何歳？」と聞いて来てくれます。「50歳」と答えると、「うそ～」とか、「わか～い」とか言ってくれます。「ありがとう」

「ほんとは何歳？」と聞いてくれた子（一年生）がいたので、「何歳に見えるの？」と聞いたら。「270歳」と言ったので、笑わせてもらいました。「ありがとう」

あっという間の1ヶ月でした。もう4月が終わっちゃいました。

授業参観、たくさんの方に来ていただき、「ありがとうございました」。

昨日から始まった、家庭訪問。お世話になります（ました）。限られた時間ではありますが、聞かせていただいたことを今後にかしていきたいと思います。

1年生は初めてのことばかりで、子どもたちも保護者の方も大変な1ヶ月だったと思います。

2～6年生も、学年が上がり、去年よりも「がんばるぞ！」という気持ちにあふれていて、良いことではありますが、オーバーペース気味の子も何人もいるのではないのでしょうか？

この五連休で、お子様のエネルギーを満タンにしてあげてください。いっぱい話を聞いてあげてください。よろしくお願いします。

さて、4月の1ヶ月を振り返って・・・

何事もなく順風満帆でした・・・では、子どもたちの成長に偏りができかねません。

自己調整力・失敗力・レジリエンスなどなど、近年、必要と言われております。僕も子供たちの成長には、何か壁にぶつかったときに、どれをどうクリアするのが必要不可欠だと思います。

- ・自力で壁を乗り越える。（保護者や仲間の応援や助言があってもよい）
- ・仲間と共に梯子を作り、乗り越える。
- ・専門家を呼んできて、壁に穴をあけて通り抜ける。
- ・壁のないところまで、迂回する。 などなど。

クリアの仕方はそれぞれでいいと思います。そこで立ち止まったり、後ずさりするのではなく、誰か（保護者や友人や先生など）に協力を求めてでも解決する力を身につけてほしいと思います。

子どもが困っていると、心配になるのは当然です。大人の力が必要な時も当然あります。

しかし、子どもの困難をすべて大人が取り払ってしまうと、自己調整力・失敗力・レジリエンスなく成長した場合、大きくなって困るのもその子であるので、心配で不安で歯がゆいかもしれませんが、子どもたちの輝かしい未来のために、我慢（見守る）も時にはお願いいたします。

ただ、少しでも何か心配があれば、学校には教えていただくとありがたいです。「協育」のほど、よろしくお願いいたします。